

# 工藤篤子メールマガジン 153号

## 2010.03.09

### ●いのちのことば パート2

お元気でいらっしゃいますか？

今回のメルマガでは、庭のクロッカスの写真を皆さんにお見せすることができるのではないかと考えていたのですが、一度はすっかり溶けた雪が、先週の金曜から土曜にかけて再び降り積もり、ハンブルクは白い風景に逆戻りしました。春がほんとうに待ち遠しいです。でも、2週間ほど雪のない寒い雨の多い日々を過ごした後、再び青空の下の白い景色を見ると、やはりこちらの方が美しいと思ったりしています。

(写真：ハンブルク市庁舎広場から見えるペトリ教会の塔)



### ●いのちのことば パート2

ところで、ハンブルクに戻ってから、7週間の昂奮状態が続いていた「マタイの福音書」の学びも一応終了。今月から、本腰を入れてコンサートの準備を始めました。そんな中ですが、今のうちに、どうしても「ローマ人への手紙」を学んでおきたくなり、どうやって時間を捻出しようかとあれこれ考えた末、食事の時間にメッセージCDを聞くことにしました。食べながらでは、当然腰を据えて学ぶことはできませんが、ドイツ滞在中に、せめて「ローマ人への手紙」全体の概要でもつかむことができれば、と思っています。最初は、頭と胃を同時に働かせると、頭もよく働かなければ胃も悪くなるのではと心配もしたのですが、聞きながらかなり昂奮し、頭の方はさておき、胃も心も快調になったような気がします。

ところで、どうして今、何としてでも「ローマ人への手紙」を学びたいと思ったのか。それは次の理由からです。

この3年間の「ヨハネの黙示録」「創世記」の学びを通して見えてきた神の壮大なマスタープランのラインの内側に、今年の「マタイの福音書」の学びで、自分の聖書理解にしっかりした骨格が形づくられてゆくを感じるようになりました。そして、今、信仰生活の基盤となる「ローマ人への手紙」を学ぶことによって、明日の自分の生き方、奉仕、そして最も大切な神への礼拝・賛美が、今までとは違った段階で、みことばを土台とし、みことばに裏付けられたものになって行くのではないかと思ったからです。

あなたのみことばは、私の上あごに、なんと甘いことでしょう。蜜よりも私の口に甘いのです。

(詩篇 119:103)

以前は、自分も心からこう言えるようになるとは思ってもみませんでした。でも、聖書が、旧約新約の境がなくなっ一冊の書物となり、そこから神の永遠の愛といのちが溢れ出るのが見えてきたとき、詩篇作者の語ったこのことばに、今、心から「アーメン！」と言えるようになりました。

今回のドイツ滞在は、膝の調子がなかなか回復しないために動きが鈍くなってしまった分、逆に、家で落ち着いて聖書の学びに集中することができたことを心から感謝しています。日本行きまでの残された2週間に大切に過ごしたいと思っています。

(写真：クムラン洞窟で聖書の巻き物が発見された土の器のレプリカ)



私たちは、この宝を、土の器の中に入れているのです。それは、この測り知れない力が神のものであって、私たちから出たものでないことが明らかにされるためです。(II コリント 4,7)

## ●3月、4月の予定

3月24日ハンブルク発 翌25日日本到着

4月4日(日) 北浜チャーチ 「♪きたはま♪春のコンサート」 15時開演

お問い合わせ 06-6226-1334

4月9日(金) 柏グローリーチャペル・賛美コンサート 19時 お問い合わせ：04-7133-8544

4月11日(日) 柏グローリーチャペル礼拝賛美 お問い合わせ：04-7133-854

4月16日(金) 「ハッピーイースター 宝塚」 午後19時開演

お問い合わせ：岩間洋師 0797-73-6076 (宝塚栄光教会)

4月24日(土) 石田耳鼻咽喉科開院10周年記念コンサート

4月29日~5月3日 中国、杭州・崇一堂伝道大会にて賛美

## ●お祈りください

- 只今、春のそれぞれのコンサートのプログラムを考案中です。導きの中でプログラムを作成することができますようお祈りください。

- 4月のコンサートのためにお祈りください。この者がへりくだって主に仕え、主ご自身が栄光を現しとてくださる時となりますように。
- 主が、心開かれた人々をコンサートへ集めてくださいますように。そして、その方々が福音を受け入れることができますように！
- 膝の回復のために、また霊肉、声を主が支えてくださいますように。



では、次回は、日本からメルマガを送らせていただきます。  
皆様も、主のご愛に満ち溢れたレントを過ごされますように！

工藤篤子